

2022年5月30日

アグリペディア株式会社

『土と施肥の基礎知識 実践編』企画書

アグリペディア株式会社（代表取締役：石田渡）は、全国土の会（会長：後藤逸男）協力のもと、通年のオンライン講義（120分/回・計6回）をzoom上にて開催します。全国の生産者に土づくりに関する体系的な講義を提供することで、日本農業のさらなる発展へ寄与することを目指しております。

講義題目

『土と施肥の基礎知識実践編～土壌診断のススメ～』

講義概要

2021年度開催『土と施肥の基礎知識～土壌診断と健康な土づくり～』の第二弾です。今年度は実際に生産者の圃場に訪問し、より実践的な土づくりの手法を学びます。

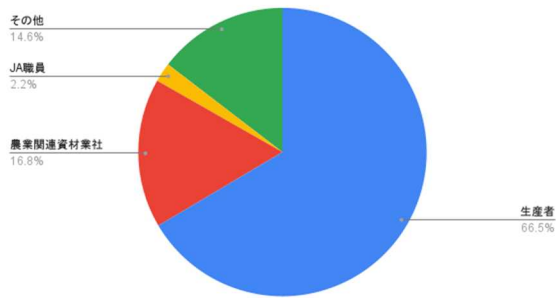
講義参加者（想定）

全国の農業者、肥料・土壌改良資材関連会社・農業団体関係者、園芸愛好家など200名程度

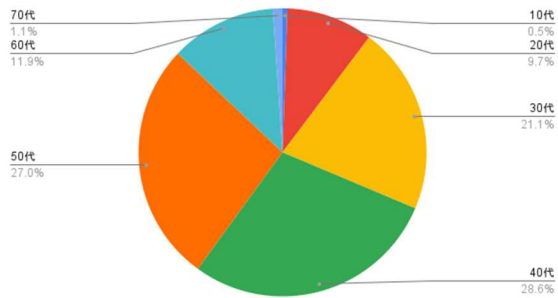
参加者実績（昨年度）

- 参加者属性：6割超が生産者、2割弱が農業関連企業関係者でした。
- 参加者年齢：8割弱が50代以下でした。ウェビナーという形式も相まって、今年度も比較的若手の農業者が中心になると予想されます。
- 栽培形態：露地あるいは施設園芸生産者が中心で、品目は露地であればキャベツ、甘藷など、施設であればトマト、キュウリなどでした。
- 地域区分：昨年度は関東地方からの参加者が最多でした。今回は、北海道・関東・東海地域に出向いて、土壌診断調査や農家へのインタビューを行います。全国各地からの参加をお待ちしています。

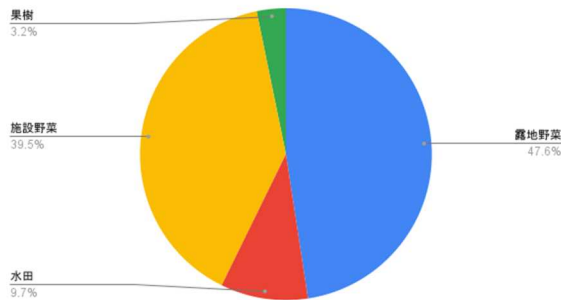
参加者属性(2021年度)



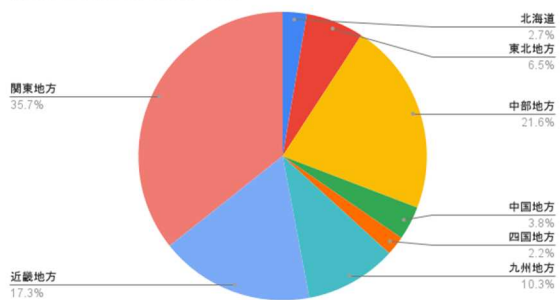
参加者年齢(2021年度)



参加者栽培形態(2021年度)



参加者地域区分(2021年度)



全体の流れ

初回講義では、前年度の復習も兼ねて土壌診断分析の基本を学びます。今年度から参加される方にも一定数いると予想されるため、初回講義ですっきりと基本を身につけていただきます。

2回目～4回目は、栽培形態・品目ごとの土づくりに関する各論を学びます。その際、圃場に訪問し、その場で土壌診断分析を実施します。その結果をもとに、土壌診断分析の活用方法、正しい土づくりの手法を学びます。

5回目の講義では、土壌病害克服事例についての講義を行います。実際に土壌病害を克服した生産者にインタビューを行い、当時の取り組み等をお話しいたします。

6回目の講義では、国産リサイクル肥料の実践事例についての講義を行います。具体的には、国産リサイクル肥料「みどりくん」などを施用している生産者にインタビューを行い、どのような効果があるかをお話しいたします。

講師プロフィール

○後藤 逸男（ごとう いつお）氏

1975年3月東京農業大学大学院修士課程修了。1995年東京農業大学教授。

2015年3月東京農業大学定年退職。

〈現職〉

東京農業大学名誉教授

農家のための土と肥料の研究会「全国土の会」会長

東京農大発(株)全国土の会 代表取締役



講義計画

○第1回「土壌診断分析概論～基本のおさらい～」

（2022年7月下旬開講予定）

○第2回「土壌診断をやってみよう～露地畑編～」

（2022年9月下旬開講予定）

○第3回「土壌診断をやってみよう～施設園芸編～」

（2022年11月下旬開講予定）

○第4回「土壌診断をやってみよう～水田編～」

（2022年12月下旬開講予定）

○第5回「土壌病害を克服した農家に学ぶ！実践事例」

（2022年1月下旬開講予定）

○第6回「国産リサイクル肥料・資材を使ってみよう！」

（2023年3月中旬開講予定）

※講義日程は変更となる場合がございます

各講義詳細

○第1回「土壤診断分析概論～基本のおさらい～」

2021年度『土と施肥の基礎知識』第3回講義「土壤診断をやってみよう（土壤診断は穴掘りから）」をベースに、土壤診断分析の基本を学びます。その際、新規の受講者にも基礎知識をつけていただけるように、土壤の物理性・生物性・化学性といった、土づくりについての基本もレクチャーします。

○第2回「土壤診断をやってみよう～露地畑編～」

○第3回「土壤診断をやってみよう～施設園芸編～」

○第4回「土壤診断をやってみよう～水田編～」

実際に生産者の圃場に伺い、各圃場で土壤診断分析を行います。そこでの分析結果をもとに、結果表の見方、正しい土づくりのポイントについて学びます。

また、生産者にもインタビューを行い、栽培のこだわり、気をつけるべきポイント等をお話しいたします。

○第5回「土壤病害を克服した農家に学ぶ！実践事例」

改めて、代表的な土壤病害とその対処方法についての概論を後藤先生にお話しいたします。その後、土壤病害を克服した生産者にインタビューを行い、当時の状況、どのように克服したか、等をお話しいたします。

○第6回「国産リサイクル肥料・資材を使ってみよう！」

現在、化学肥料原料ばかりでなく有機質肥料まで輸入に依存している状況にあります。昨今の肥料代高騰に対処するため、肥料自給率を高めて環境にやさしい農業を実践するために、国産肥料の実践事例を学び、その可能性を検討します。

国産リサイクル肥料「みどりくん」などを使った生産者にインタビューを行い、コストカット、収量・品質への影響についてお話しいたします。

実施概要

期間・回数：2022年7月～2023年3月 計6回

形式：Zoomウェビナー（120分）

時間帯：19:00～21:00

定員：200名

※万が一講義に参加できなかった場合は、運営から録面のURLをお送りします。

受講費用

一般受講費：年間10,000円（税込）

全国土の会会員*受講費：年間7,500円（税込）

注*：2022年度会員登録済みの個人・法人・支部・賛助会員に限ります。

2022年度会員登録の有無確認につきましては、全国土の会事務局に照会して下さい。

全国土の会事務局：soil@nodai.ac.jp 電話：03-3426-1771

申し込み方法

下記の申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/fLuS3UCVooNMSv8eA>

申し込みフォーム以外からのお申し込み方法

○電話申し込みの場合

「オンライン講義の申し込み」の旨をお伝えください。

その後、担当者がお名前等必要情報をお伺いします。

○メール申し込みの場合

お名前・お電話番号・メールアドレスを必ずご記載の上、「オンライン講義の申し込み」の旨をお伝えください。

その後、担当者が折り返しご連絡差し上げます。

お客様からのお問い合わせ先

会社名：アグリペディア株式会社

TEL：03-5860-2552

e-mail：info@agripedia.co.jp

全国土の会について

「全国土の会」とは、平成元年(1989年)に設立された農家のための土と肥料の研究会です。その目的は農業者が土壌診断結果に基づいた土壌改良・施肥管理を実践することで、貴重な肥料資源の節約や有機質資源の有効利用を図り、農業生産経費ばかりではなく環境負荷軽減を図ります。また、高品質農産物を生産し、環境及び農業経営にも、やさしい農業を実践することです。

ホームページ：<https://tsutinokai.co.jp/soil/>

アグリペディア株式会社について

私たちアグリペディア株式会社は、新たな農業の担い手である「中・大規模農業法人」にフォーカスした支援事業を行っています。これまで一般的だった日本の農業の枠に収まらない、ダイナミックな生産者特有のお悩みに寄り添い、解決していきます。

現在は、農産物のBtoBプラットフォーム事業を中心に、農業資材販売事業、オンライン栽培相談等を展開しています。

ホームページ：<https://agripedia.co.jp>